

においては最も顕著), 光沢に富むことである。また, フィリピンに産する *Ponera chapmani* TAYLOR, 1967 にも類似するが, やはり第2腹背板の Sculpturation の相違等により区別できる。なお, 本邦からもう1種 *Ponera japonica* WHEELER, 1906 (ヒメハリアリ) が知られているが, この種は小形であるので (Total Length, worker ca. 2.7 mm, female ca. 3.3 mm) 容易に識別できる。模式産地は鹿児島県屋久島大杉谷 (標高約1,200 m)。ヒメシャラに付着したコケの下から採集した。和名はその産地名を冠してヤクシマハリアリとしたい。

## New record for distribution of

トカラウロコアリの新分布

田 中 将 宏  
tokarajurokoari, <sup>ant</sup> Trichoscapa

トカラウロコアリ *Trichoscapa membranifera* EMERY, 1869 (Ann. Accad. Aspir. Nat. Napoli, 2: 24)は, 合衆国南部から中国大陸東南部まで広く熱帯・亜熱帯の太平洋地域に分布する。BROWN (1949)はその論文 Revision of the Ant Tribe Dacetini, Fauna of Japan, China and Taiwan (Mushi, 20: 1-25)において本種が本邦の温暖な地方から発見されることを予想し, その予想の通り最初の報告はトカラ列島中之島から1954年宮本正一氏によってなされた (新昆虫, 7 (2): 28)。続いて同じ年に岡本啓氏により高知県から報じられている (げんせい, 3: 47) が, それ以後本種の本邦における分布に関する報告を見ない。

筆者は本種を和歌山県白浜の京都大学瀬戸臨海実験所構内において採集した。本州からは最初の記録である。

9 workers, in the Campus of the Seto Marine Biological Laboratory, near Shirahama, Wakayama Pref., Japan, 31. V. 1974, M. TANAKA leg.

なお, 京都大学の森下正明教授から個人的に伺ったところによると, 沖縄においても本種らしいものが採集されているとのことであり, 他にも未報告のものが幾例かあるものと思われる。ご教示いただいた森下教授に謝意を表したい。